



医療



市民公開講座



記事広告



地域連携

## 「第30回日本医学会総会 2019 中部」 新聞社の持つパワーをフル活用して、学会の広報をサポート

4年に1度、全国の医療従事者約3万人が一同に会して、医学・医療の課題を大いに議論する「日本医学会総会」。平成最後の学会が、24年ぶりに名古屋を中心に中部8県で開催されました。中部8県といえば、まさに中日新聞・北陸中日新聞が新聞発行するエリア。地域の新聞社として、新聞社の持つコンテンツを最大限に利用し、学会を盛り上げました。

「医学会総会」といっても、医療従事者が集まる学会は、一般の人々には縁遠く、難しいイメージが付きものです。しかし、これだけ高齢化社会が進む中、医療・健康といった情報は大変重要であり、また医学会も正しい情報を伝えるため、市民に向けた講座などを開催し情報を伝える努力をしています。2月に掲載した開催記念特集では、「第30回 日本医学会総会2019 中部」会頭と副会頭にインタビューを行い、主催者のメッセージを発信しました。

また、この医学会総会を機に、多くの読者が正しい医療情報に触れ、学び、理解を深めてもらえるきっかけになればと思います。学会が準備している市民公開講座のほかにも、市民展示会場で中日新聞が主催する市民公開講座を開催しました。医療関係者のほか、元中日ドラゴンズ選手の鈴木孝政氏をゲストに迎えた講座も実施しており、親しみやすい構成となるように工夫しています。この講座は載録紙面も掲載し、より広く情報発信を行いました。

このほか、子どもを対象とした「心に残る医療絵画コンクール」、小児がんの子どもたちを中日ドラゴンズの試合に招待する「子ども夢プロジェクト」、医学会総会との共催事業「人体大解明の旅」(事業局主催)など、紙面での広報以外にもさまざまな取り組みを実施しています。新聞社の力を活用して市民への啓発を行い、学会の広報に寄与しました。

名古屋本社広告開発部 大谷 朋子



▲「会頭・副会頭インタビュー特集」  
2019年2月24日付 中日新聞朝刊



▲「市民展示特集」「心に残る医療絵画コンクール」  
2019年3月21日付 中日新聞朝刊 (「心に残る医療絵画コンクール」のみ北陸中日新聞朝刊併載)



▲「市民公開講座・特別公開講座特集」  
2019年4月7日付 中日新聞朝刊



▲「市民公開講座特集」  
2019年3月6日付 中日新聞朝刊

中日新聞主催の市民公開講座のうち一つには、(医)いさな会 中京眼科 視覚研究所所長・市川一夫氏のほか、元中日ドラゴンズ選手・鈴木孝政氏も登壇。「目の健康」の重要性について、わかりやすく伝えました。



▲▼市民公開講座当日の様子



▲「市民公開講座 載録特集」  
2019年4月23日付 中日新聞朝刊